

進路通信

親和中学校・親和女子高等学校
平成26年5月17日(土)第2号
進路指導部 [ホームページに掲載]
<http://www.kobe-shinwa.ed.jp>

中1

中2

中3

中間考査



20(火)	社会・数学X	数学A・国語・理科	理科・英文法・数学A
21(水)	国語・理科	英語G・数学B	国語・英語Crown
22(木)	数学Y・英語	英語R・社会	政治経済・数学B

立夏を過ぎ真夏のような日々が続いています。夏服で登校する生徒も増えてきました。暑くなってきたとは言え、まだ5月中旬です。気温の寒暖差に気をつけて、元気に登校し学んでほしいと願います。

さて、文化祭・ゴールデンウィークを終え、20日(火)より中間考査が始まります。考査の準備は万全ですか。教科書・ノート・問題集・学習資料等、授業で使用している全てを総点検・総復習してください。先日、一年生の学級通信に、一日4時間学習している人の生活ノートが掲載されていました。一年生は体力面でも電車やバスで通学するのに、上級生以上に疲れるだろうと思いますが、入学して一ヶ月を過ごし、学校生活にも慣れてきた頃ではないでしょうか。部活動や家庭学習に頑張っている生徒がたくさんいるんだなと頼もしく感じました。土日で学習し不明確なところは月曜日に質問して解決しよう。

● 復習の大切さ・繰り返し学習の大切さ・音読の大切さ

「継続は力なり」

今は結果にこだわらずに努力を積み重ねていくことが大事な時期です。定期考査は、今まで学習してきたことの振り返りです。どれだけ理解しているのかを把握するための総点検であり、これから高等学校へ進んでゆくための基礎学力がついているのかを確かめる試験でもあります。授業で先生の説明に耳を傾け、ノートを整理し、なんとなくわかった気持ちでも自分の力で問題を解けなくては、ほんとうの学力にはなっていません。2年生・3年生のみんなはそれなりに自分の学習方法を身につけているでしょうが、1年生のみんなは、習ったことの総復習にたっぷり時間を費やしてください。

前回にも伝えましたが、習ったその日に習った学習の復習をする習慣をつけてほしいです。先生の表情や黒板に書かれた位置まで、その日に復習すれば記憶に残っています。「鉄は熱いうちに打て」という諺があるように、記憶に残っているうちに復習すると力になります。

特に数学や英語は反復学習が必要です。同じ問題を何度も解いてください。問題を見れば、問題の意図するところがわかるくらいまで問題を解いてください。みなさんは新しい曲を覚えるときにはどうしていますか。何度も聴いて、何度も口ずさんで覚えるのではないのでしょうか。学習も同じです。声に出して覚えていくことが、家庭学習でも必要です。家庭学習に取り組む際には、ぶつぶつと口にしながら学習し、目・口・耳からも覚えていってください。

● 考査はファイリング！長期休暇中に再挑戦！目指すは学力の定着！

試験は、試験前の学習と試験返却後のやり直しがとても重要です。高校版の進路指導部だよりでも伝えていますが、試験問題は学習のエキスが凝縮されています。高校受験のある中学校では、中学3年生の夏休みにはもう一度一年生からの定期テストをやり直す課題を与えている学校もあります。積み重ねの教科は一年生の問題は比較的簡単に解けますが、単元別に学習する教科については忘れてしまっていることが多いです。まずは、中間考査後の解答の解説をしっかりと理解し、次に今度同じ問題が出題されれば解けるようにしておくことです。結果も大切ですが、結果よりも次につながる学習を心がけてください。



迷ったときに正しい道を歩むためには 一度立ち止まってじっくりと考える【気づきを育てる】

よく玄関の靴を揃えることのできる子どもは学力も伸びると言われます。これは物事に取り組む際によく考えて行動することを意味しています。「正」という漢字は「一」+「止」です。つまり正しいかどうか迷ったときには、一度立ち止まって考えてみるのが大事であるということを示しています。

今さえ楽しければよいとか自分さえ楽しめればよいという風潮が世の中にあります。流れに身を任せていては人としての成長はありません。中間考査を一つの節目と捉えて、一度立ち止まってみませんか。4月からの学校生活や家庭生活を振り返ってみませんか。「自分のわがままを押し通したりしていないだろうか。」「学級や学年の仲間を大事に考えているだろうか。」「慣れからくるいい加減さが出てきていないだろうか。」「自分の言動が場合によっては、他の仲間を傷つけてしまっていることもあります。大切なことは「気づき」です。毎日の生活で「気づく心」を磨いてほしいです。最近の言葉では「空気を読む」に当たるのでしょうか。「気づく心」を育てることは、素敵な大人への一歩となります。

教室のゴミに気づいたらどうしますか。学校生活で気づく心を育てる一番の場面は清掃活動なんです。邪魔くさいなんて感じているようでは、気づきの心は育ちません。

一度立ち止まって、気づいていないことがないかよく考えて行動する場面があってもいいのではないかと思います。

放課後の食堂で気づいたことがあります。たくさんの生徒が満席で自主学習していました。結果が楽しみです！

授業参観



廊下でも学習



放課後の食堂

お忙しい中、授業参観・育友会総会への参加、ありがとうございました。参観では楽しそうに学ぶ1年生の姿が目につきました。